

「京の食」産業振興プランに係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

| 項目 | 意見の要旨 | 府の考え方 |
|-------------------|--|---|
| 京の食文化を生かした販売促進の強化 | <p>時代の変遷により食品の味、食生活などが変化しているので、京都の歴史や文化を取り入れた新しい「商品開発会」や「食の祭典」を全国・世界規模で開催したらどうか。</p> | <p>食材や加工技術、文化等の様々な分野の連携を促し、新製品開発や販路開拓に対する支援を進めていきたいと考えています。</p> |
| | <p>農業者と食品業者のより一層の連携強化が必要</p> | <p>京都府では農商工連携を積極的に進めているところですが、さらに、新設された京の農業応援隊と中小企業応援隊との情報交換を密にするなどにより、連携を強化していきます。</p> |
| | <p>消費者が選ぶコンテストを開催したらどうか。このため、食品開発する企業に対し補助制度を用意したらどうか。</p> | <p>コンテストをはじめ販売促進や新製品開発に対する支援について、充実を検討していきます。</p> |
| | <p>商品開発や販路開拓等のアドバイス・支援を行う専門家機関を設置したらどうか。</p> | <p>京都府では従来から専門家派遣制度を設けていますが、さらに充実を検討していきます。</p> |

| | | |
|---------------------|--|---|
| | <p>海外市場開拓とインバウンド消費の拡大を図るためには、海外巡回展や海外の集客施設で年間を通じて催事を行う等、観光・産業の施策と連携しながら「京の食」認知向上プロモーションを展開するのが望ましい。</p> | <p>情報発信に取り組む幅広い業種による企業グループづくりを進め、その活動を支援したいと考えています。</p> |
| | <p>京都で和食を学ぶ留学生等に対し、帰国後の活躍を支援するためのネットワーク化を検討してはどうか。</p> | <p>京都で和食を学んだ留学生が母国で開業する一助となるよう、帰国後のネットワーク化について、今後検討したいと考えます。</p> |
| | <p>メニューの多言語化や料理教室への通訳派遣に対する支援強化</p> | <p>インバウンド観光客に対応するのに重要なことと考えます。中小企業応援隊の活動等により支援したいと思います。</p> |
| <p>「京の食」産業の基盤強化</p> | <p>京料理をはじめ和食の魅力を体感し、その価値を再認識する「京都 和食の祭典」の内容強化</p> | <p>ご意見のとおり「京都 和食の祭典」などにより、府民が京の食文化に触れる機会の増大を図りたいと考えています。</p> |
| | <p>中小企業がこの先残っていくためには、自社製品に特徴を持たせるとともに競争力強化のため生産ラインの整備などが必要。全て自前で行うことは人的、資金的にハードルが高いことから、行政の尽力をお願いするとともに、業者も開発や販売を共同で取り組む等の努力が必要。</p> | <p>中小企業の設備投資に対する支援の充実を図りたいと思います。また、共同で新製品開発や販路開拓に取り組むグループづくりを進めたいと考えています。</p> |

| | | |
|-----|--|--|
| | <p>地域ではぐくまれてきた独自の伝統食や食文化、こだわりの地元食材で作られた特産品などの発掘やプロモーションを支援するような施策があればいい。</p> | <p>地域独自の伝統食や地元食材、いわば「暮らしの食」は、京の食文化を豊かにする大切な構成要素です。伝統食や食文化の継承、地元食材の特産品づくりなどが府民自らの力で継続できるように発掘及び販路開拓を支援したいと考えています。</p> |
| その他 | <p>良いプランなのでぜひやって欲しい</p> | <p>食品製造業や料理飲食業は府民の食生活を支える大切な産業ですので、プランの実現を通じて振興を図っていく考えです。</p> |